
datasaver

マニュアル（応用編）

CONTENTS

1. datasaver 本体側(ファームウェア)～管理者画面～	4
1-1:【概要】画面	4
1-1-1: datasaver 本体のファームウェアバージョンを調べるには？	4
1-1-2: datasaver 本体のファームウェアモデルを調べるには？	4
1-1-3: datasaver サーバ本体の負荷状況とは？	5
1-2:【エージェント】一覧画面	6
1-2-1: エージェント閲覧画面について	6
1-2-2: エージェントの設定(パスワード・スケジュールなど)を変更・消去するには？	7
1-2-3: 手動でリカバリポイントを作成するには？	8
1-2-4: リカバリポイントをロック・消去するには？	8
1-2-5: 多数のエージェントをバッチファイルで一度に作成するには？	9
1-2-6: プライバシー保護の有効とは？	10
1-3:【設定】画面	11
1-3-1: ファームウェアをアップグレードするには？	11
1-4:【ディスク管理】画面	13
1-4-1: ディスク状態が【ACTIVE】ではない場合の対応方法について	13
1-4-2: 初期化とは？	16
1-4-3: 検査とは？	16
1-5:【サーバ管理】画面	16
2. エージェント	17
2-1: エージェント画面	17
2-1-1: エージェントオプション	17
2-1-2: エージェントのバージョンを調べるには？	18
2-1-3: 不具合セクタ検知が表記されたら？	18
2-1-4: 不適正なシャットダウンが検知されたら？	20
2-2: エージェントをアップグレードするには？	20
2-2-1: iso ファイルを使ってアップグレードする。	20
2-2-2: setup.exe ファイルを起動してアップグレードする。	20
2-3: エージェントをアンインストールするには？	20
3. エージェントアイコン	20
3-1: 言語を変更するには？	20
4. E メールアラート	21
4-1: E メールアラートの種類・概要	21
5. ログの取得方法～ datasaver サポートチームにサポートを依頼するには？	22
6. datasaver を UPS(無停電電源装置)に接続する	23

6-1:UPS セットアップ、接続確認方法	23
6-2:UPS 関連のアラートについて	24
7. FAQ(よくある質問)	24
7-1:導入設置・運用	24
7-3:復旧	27
8. Raid 構成のしくみ(Raid1, Raid10, Riad6, ホットスペア)	29

◆はじめに

datasaver マニュアル（応用編）は、**datasaver** マニュアル（基本編）にて説明していない詳細設定、バージョンアップ方法やサポート等の応用部分について明記しています。**datasaver** をご使用されるお客様は必要の際にすぐ参照できるよう本マニュアルを近くに置き保管してください。またマニュアル本文中に画像イメージを添付していますが、お客様先によって設定や状況は異なりますので、参考としてご覧ください。また本マニュアルに関するお問い合わせは本書最後に記載しております窓口連絡先までお願い致します。

◆本マニュアル対応機種

製品名	外観	型番	構成	実容量
datasaver DS21T		DS21T	SATA HDD 1TBx2 ソフトウェア RAID RAID1	1TB
datasaver DS42T		DS42T	SATA HDD 2TBx4 ハードウェア RAID RAID10	4TB
datasaver DS121T		DS121T	SATA HDD 1TBx12 ハードウェア RAID RAID6+ホットスペア	12TB

機種により構成が異なるため、操作が異なる場合もございます。

その場合は本マニュアルに対応機種を明記していますのでご確認ください。

1. datasaver 本体側(ファームウェア)～管理者画面～

1-1:【概要】画面

1-1-1:datasaver 本体のファームウェアバージョンを調べるには？

1-1-2:datasaver 本体のファームウェアモデルを調べるには？

①管理者としてログインします。

※ログイン方法はマニュアル基本編を参照

②概要画面が表示されます。あるいは、概要をクリック。

③【システム概要】にてファームウェアバージョン・モデルを確認します。

【システム概要】

※ファームウェアのモデルとは「KDXX」と表示されている部分です。新しいバージョンのファームウェアをダウンロードする際は、該当のモデルで入手してください。※ファームウェアのバージョンとは、「3.3.0」と表示されている部分です。数字が大きいほど、最新のバージョンとなっていきます。

datasaver

エージェント | **概要** | 設定 | ディスク管理 | サーバ管理 | ログアウト



【システム設定】

datasaver の各種設定
情報を表示します。

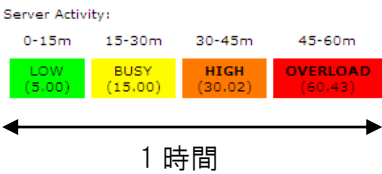
【ディスク概要】

datasaver 内のディスク概要を
示します。

【稼働状況】

過去 1 時間を 15 分間隔で、どの程度 **datasaver** サーバ
本体に負荷がかかっているか状況を確認できます。

1-1-3:datasaver サーバ本体の負荷状況とは？



表示	状況	対処法
OVERLOAD	オーバーロード	数台のバックアップを停止してください。 システム障害やデータ破損に繋がる恐れがあります。
HIGH	負荷 高	ネットワークの負荷がかからないよう、数台のバックアップ停止を検討してください。
BUSY	負荷 中	使用を続けて下さい。
LOW	負荷 低	使用を続けてください。

1-2:【エージェント】一覧画面

1-2-1:エージェント閲覧画面について

①管理者としてログインします。

※ログイン方法は基本編を参照

②メニューの【エージェント】をクリック。

③エージェント一覧画面が表示されます。

エージェントの設定を変更します。

リカバリポイントを管理します。
ロック・消去・スナップショット作成が行えます。
※リカバリポイント内のデータを管理者が閲覧することはできません。

エージェントステータスを表示します。
※ステータス詳細についてはマニュアル基本編を参照ください。

エージェント名: watani	連続保護: 完了 (17 May 2010 05:19 PM) 最終同期: ストップしました。 (21 May 2010 04:08 PM) サイズ: 40.72 GB リカバリポイント: 7 (リカバリポイントの最大数: 7) 現在のスケジュール: 毎日: 01:00 (hh:mm)	
エージェント名: kaicho	連続保護: 完了 (16 Mar 2010 06:30 PM) 最終同期: 稼働 (27 May 2010 02:49 PM) サイズ: 22.38 GB リカバリポイント: 7 (リカバリポイントの最大数: 7) 現在のスケジュール: 毎日: 09:20 (hh:mm)	
エージェント名: kaigishitsu	連続保護: 完了 (16 Feb 2010 03:29 PM) 最終同期: 稼働 (07 May 2010 12:19 PM) 最終同期から24時間以上経過しています! サイズ: 10.99 GB リカバリポイント: 7 (リカバリポイントの最大数: 7) 現在のスケジュール: 毎日: 23:40 (hh:mm)	

エージェント詳細:
連続保護、最終同期、ディスクのサイズ、現在のリカバリポイント数、
現在のスナップショットのスケジュールを表示。

1-2-2: エージェントの設定(パスワード・スケジュールなど)を変更・消去するには？

①管理者としてログインします。

※ログイン方法はマニュアル基本編を参照

②メニューの【エージェント】をクリック。

datasaver

エージェント | 概要 | 設定 | ディスク管理 | サーバー管理 | ログアウト

エージェント設定の編集

エージェント名: test

リカバリポイントの最大数: 7 (リカバリポイント: 0)

現在のスケジュール: スケジュールなし

新しいスケジュール:

☒ 毎日: 00 : 00 (hh:mm)

☐ 毎週: Mon , 00 : 00 (D,hh:mm)

☐ 毎月: 1 , 00 : 00 (dd,hh:mm)

☐ 定期毎: 30 (min)

保存

エージェントパスワード編集

新しいパスワード:

パスワード再入力:

パスワード変更

その他のオプション:

プライバシー保護の有効 ☐

エージェント消去

消去ボタン: エージェントを消去します。■重要

【リカバリポイントの最大数】を変更する。

※初期設定は最大数「7」です。

【新しいスケジュール】を設定する。

※初期設定は【スケジュールなし】です。

※こちらで設定したスケジュール＝リカバリポイントとなります。

※運用にあたり、定期毎 X 分のスケジュール設定はしないで下さい。
datasaver サーバ本体の CPU に負荷を与え、ファイルシステムの損傷の原因となります。
こちらの設定は datasaver 評価環境用として設けているものです。

※推奨設定は毎日 1 回です。

設定したパスワードを変更する場合は
こちらに新しいパスワードを入力します。

③エージェント一覧画面が表示された後、変更したいエージェント部分にて【エージェント設定】をクリック。

④編集画面が表示されます。

⑤編集したい部分を入力操作する。

⑥エージェント設定の場合は【保存】、エージェントパスワードの場合は【パスワード変更】をクリック。

■ 重要 --- エージェント消去 ※併せてマニュアル基本編を参照ください。

※エージェントを削除する場合は、バックアップを停止してから削除を行って下さい。

※複数を消去する場合、datasaver本体サーバのCPUへ負荷がかかるため、1つずつ順番に消去を実行して下さい。

※エージェント内のリカバリポイント等全てのデータは全て削除されますので、注意して操作を行って下さい。

※フルバックアップ中、連続保護バックアップ中に削除を行うと故障の原因となりますので、
注意して操作を行って下さい。

1-2-3:手動でリカバリポイントを作成するには？

1-2-4:リカバリポイントをロック・消去するには？

リカバリポイントの管理をします。

①管理者としてログインします。

※ログイン方法はマニュアル基本編を参照

②メニューの【エージェント】をクリック。

③エージェント一覧画面が表示された後、管理するエージェント部分にて【リカバリポイントの管理】をクリック。

④リカバリポイントが表示されます。

スナップショットボタン：

スケジュール以外に、手動でリカバリポイントを作成します。

datasaver

エージェント | 概要 | 設定 | ディスク管理 | サーバ管理 | ログアウト

エージェント名: kishi

エージェント設定

連続保護: 完了 (27 Apr 2010 01:55 PM)
最終同期: 稼働 (06 May 2010 05:41 PM)
サイズ: 28.82 GB
リカバリポイント: 13 (リカバリポイントの最大数: 7)
現在のスケジュール: 毎日: 00:30 (hh:mm)

06 May 2010 05:41 PM スナップショット作成

06 May 2010 12:30 AM (...) ロック 消去

05 May 2010 12:30 AM (...) ロック 消去

04 May 2010 12:30 AM (...) ロック 消去

03 May 2010 12:30 AM (...) ロック 消去

消去ボタン:リカバリポイントを消去します。■重要

ロックボタン:ロックしてリカバリポイントが設定されている最大数以上に、ローテーションせずに保存されます。

■ 重要 --- リカバリポイントの消去

リカバリポイントを消去するにはバックアップデータの量により時間を要します。

一度にまとめて消去した場合、datasaver本体サーバのCPUへ負荷がかかるため、

1つずつ順番に消去を実行してください。

1-2-5: 多数のエージェントをバッチファイルで一度に作成するには？

複数のエージェントを一度に作成したい時に使用します。

以下のルールに従って、テキストファイル(拡張子.text)で簡単に作成できます。

①テキストファイルを開きます。

②以下の順に決められたバッチを入力し、並べて作成します。

エージェント名

パスワード

リカバリポイントの最大数

スケジュール

スケジュール形式

【エージェント名】 必須項目

最大 15 文字、英数字、ハイフン、アンダーバーのみ使用

【パスワード】 必須項目

最大 15 文字

【リカバリポイント数】0 が初期設定です。

(初期設定 0 は 10 個です)

許容値 : 5, 10, 15, 20, 25, 30, 40

【スケジュール】

0 が初期設定です。(初期設定 0 はスケジュール無しです)

1 は毎日。

2 は毎週。

3 は毎月。

4 は定期毎。

【スケジュール形式】

スケジュールが毎日の場合は <時間>,<分>

スケジュールが毎週の場合は <時間>,<分>,<曜>

スケジュールが毎月の場合は <時間>,<分>,<日>

スケジュールが定期毎の場合は <定期分>

※それぞれの項目間にはカンマ(,)を入力してください。

■ MEMO --- 数表記に関する注意点

・時間(0-23) 分(0-59) 24 時間表示

・週(mon, tue, wed, thu, fri, sat, sun)

・日(1-31)

・定期毎(30,60,120,360,720)

例 1:エージェント名を“pc1”とし、パスワードを“password”
とし、復旧ポイント数を“10”とし、
スケジュールを無しとした場合

pc1,password,10

例 2:エージェント名を“pc2”とし、パスワードを“password”
とし、復旧ポイント数を“5”とし、
スケジュールを毎日の AM5:30 とした場合

pc2,password,5,1,5,30

例 3:エージェント名を“pc3”とし、パスワードを“password”
とし、復旧ポイント数を“10”とし、
スケジュールを毎週日曜の AM1:00 とした場合

pc3,password,10,2,1,0,sun

例 4:エージェント名を“pc4”とし、パスワードを“password”
とし、復旧ポイント数を“15”とし、
スケジュールを毎月 13 日の AM5:30 とした場合

pc4,password,15,3,5,30,13

例 5:エージェント名を“pc5”とし、パスワードを“password”
とし、復旧ポイント数を“40”とし、
スケジュールを毎 30 分とした場合

pc5,password,40,4,30

例 6:エージェント名を“pc6”とし、パスワードを“password”
とし、復旧ポイント数を“5”とし、
スケジュールを毎 360 分とした場合

pc6,password,5,4,360

③テキストファイルを任意の場所へ保存します。

④管理者としてログインします。

※ログイン方法は基本編を参照

⑤メニューの【エージェント】をクリック。

⑥【エージェント設定】をクリック。

⑦バッチファイル部分にて【参照】をクリック。

⑧作成したテキストファイルを指定。

⑨【作成】ボタンをクリック。

⑩確認画面が表示されます。

⑪【作成】をクリック。

datasaver

1-2-6: プライバシー保護の有効とは？

このボタンを実行しますと、管理者ログイン画面ではパスワードを編集することが出来なくなります。

エージェントログイン画面でのみパスワードを編集することが可能になります。例えば経営者のデータを管理者にも見られたくない場合はこの設定を行えばプライバシーの保護が行えます。

datasaver

①管理者としてログインします。

※ログイン方法はマニュアル基本編を参照

②メニューの【エージェント】をクリック。

③エージェント一覧画面が表示された後、変更したいエージェント部分にて【エージェント設定】をクリック。

④編集画面が表示されます。

■ 重要 --- プライバシー保護有効時にパスワードを忘れてしまった場合

管理者は該当エージェントアカウントとリカバリポイントを一度削除してから再度新しく

エージェントを作成することになります。

1-3:【設定】画面

1-3-1:ファームウェアをアップグレードするには？

新しいバージョンのファームウェアがリリースされました、弊社サポートページよりダウンロードができます。

※ダウンロード時にご使用のファームウェアバージョン・モデルをご確認ください。

バージョンの調べ方は本マニュアルに明記しています。

- ①弊社サポートページより新バージョンのファームウェアを入手する。
- ②管理者としてログインする。 ※ログイン方法はマニュアル基本編を参照
- ③メニューの【設定】をクリック。
- ④【ファームウェア アップデート】をクリック。



- ⑤【参照】ボタンをクリックし、ダウンロードしたファイルを選択ください。



- ⑥【ファームウェア アップデート】ボタンをクリック。
- ⑦メニューの【ディスク管理】ボタンをクリックし、【再起動】ボタンにて再起動。

※再起動致しませんとアップデートが完了致しませんのでご注意下さい。

1-3-2:工場出荷時にリセットするには？

工場出荷時にリセットすると、メニュー【設定】にて設定された IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ/ルーターがリセットされ、初期設定に戻ります。

- ①管理者としてログインする。 ※ログイン方法は基本編を参照
- ②メニューの【設定】をクリック。
- ③【工場出荷時にリセット】をクリック。
- ④右記確認画面が表示されたら、【はい】をクリック。

※作成されたエージェントやリカバリポイント、管理者パスワードは
削除されません。



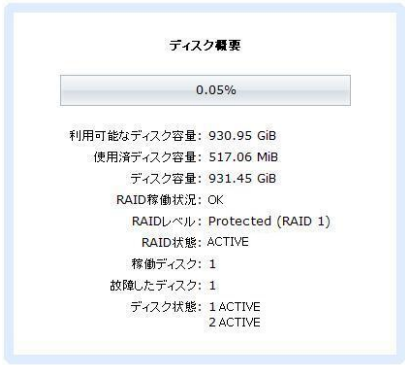
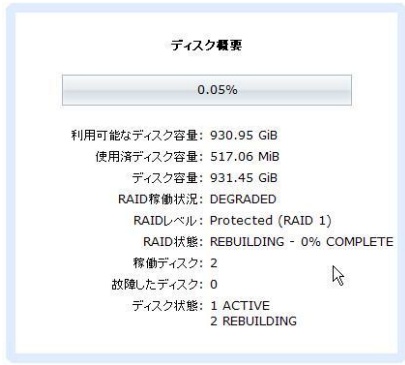
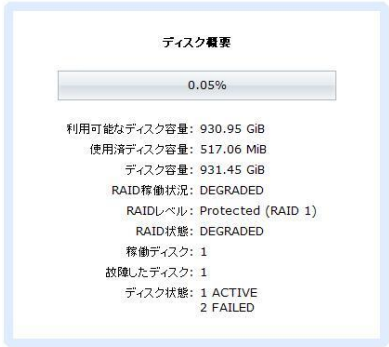
1-4:【ディスク管理】画面

1-4-1: ディスク状態が【ACTIVE】ではない場合の対応方法について

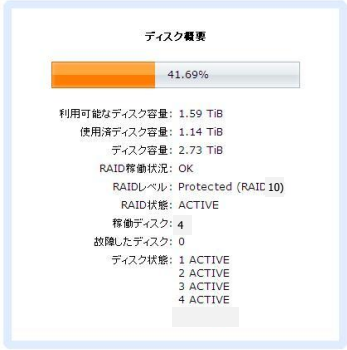
※ディスク状態を確認して、【ACTIVE】以外の表示がされていた場合は、下記に従って対処してください。

- ①管理者としてログインする。 ※ログイン方法は基本編を参照
- ②メニューの【ディスク管理】をクリック。

【DS21T の場合】

表示	意味	対処法
ACTIVE	正常	 正常稼働です。そのままご使用ください。
REBUILDING	RAID 構築中	 RAID 構成を変更・初期化中です。 100%完了となるのを待ち、【ACTIVE】になった事を確認してください。
FAILED	HDD 故障	 datasaver サポートまでご連絡ください。 ※保守確認書をご確認ください。 ※電源はシャットダウンせず、そのままの 状態にしてください。 故障 HDD 交換後、Raid 構成を再構築 致します。

【DS42T の場合】

表示	意味	対処法
ACTIVE	正常	 正常稼働です。そのままご使用ください。
REBUILDING	RAID 構築中	 RAID 構成を変更・初期化中です。 100%完了となるのを待ち、【ACTIVE】になった事を確認してください。
REMOVED/FAILED	HDD 故障	 datasaver サポートまでご連絡ください。 ※保守確認書をご確認ください。 ※電源はシャットダウンせず、そのままの状態にしてください。 故障 HDD 交換後、Raid 構成を再構築致します。

【DS121T の場合】

表示	意味	対処法
ACTIVE	正常	 正常稼働です。そのままご使用ください。
REBUILDING	RAID 構築中	 RAID 構成を変更・初期化中です。 100%完了となるのを待ち、【SPARE】になった事を確認してください。
FAILED	HDD 故障	 datasaver サポートまでご連絡ください。 FAILED になり HDD が故障した場合は、ホットスペアの HDD が起動し、【ACTIVE】になります。 ※保守確認書をご確認ください。 ※電源はシャットダウンせず、そのままの状態にしてください。

1-4-2:初期化とは？

1-4-3:検査とは？

- ①管理者としてログインします。
※ログイン方法は基本編を参照
- ②メニューの【ディスク管理】をクリック。
- ③右側にディスク構成が表示されます。

初期化ボタン:データは全て消え、
DS21T は RAID1、
DS42T は RAID10、
DS121T は RAID6+SPARE を構成します。
HDD 障害時、交換する際に再度 RAID を構成させるために使用します。
※併せて Raid 構成のしくみを本マニュアルにてご参照ください。

ディスク構成

初期化

全てのデータを削除し、初期化をしてください
警告: 全てのリカバリポイント、エージェントとパスワードは消去されます。

検査

エラーと修正が無いがすべてのデータとディスクを確認します。

検査ボタン:HDD をスキャンしエラーと修正が無いが確認ができます。定期メンテナンスの際に使用します。

■ 重要 --- datasaver 初期化

全てのリカバリポイント・エージェント・パスワードは消去されます。ご注意ください。

■ 重要 --- Raid 構築の電源断

Raid構築中(再構築を含む)の電源断は故障の原因となる可能性がございますので、ご注意ください。

1-5:【サーバ管理】画面

- ①管理者としてログインします。
※ログイン方法は基本編を参照
- ②メニューの【サーバ管理】をクリック。

再起動ボタン:**datasaver**
本体サーバを再起動します。

シャットダウンボタン:**datasaver**
本体サーバをシャットダウンします



【システムログ閲覧】クリックをすると、瞬時のログを表示します。

【解析ログダウンロード】
サポート対応のため、ダウンロードを依頼することがございます。
ダウンロードしたファイルは bkp ファイルとなります。
併せて本マニュアル 5-1 ファームウェアログをご覧下さい。

■ 重要 --- datasaver サーバ本体のシャットダウン

本体前面の電源ボタンから急に切りますと、故障の原因となるため、シャットダウンは必ずこちらの手順にてお願いいたします。

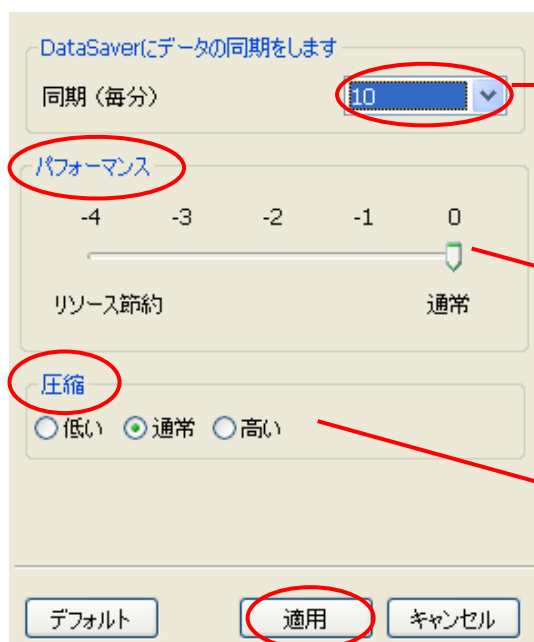
2. エージェント

2-1: エージェント画面

エージェント画面を表示するには、**datasaver** アイコンをクリックします。

2-1-1: エージェントオプション

エージェントによって同期、パフォーマンス、圧縮の設定を変えたい時に、操作します。



datasaver と同期する間隔を変更できます。

2, 5, 10, 15, 20, 30, 60 分から選択できます。

初期設定は推奨の「10 分」になっています。

PC のパフォーマンス向上のため、リソースを節約する事により調整する事ができます。

初期設定は推奨の「通常」になっています。

datasaver へデータを送る際の圧縮率を変更することができます。
初期設定は推奨の「通常」になっています。

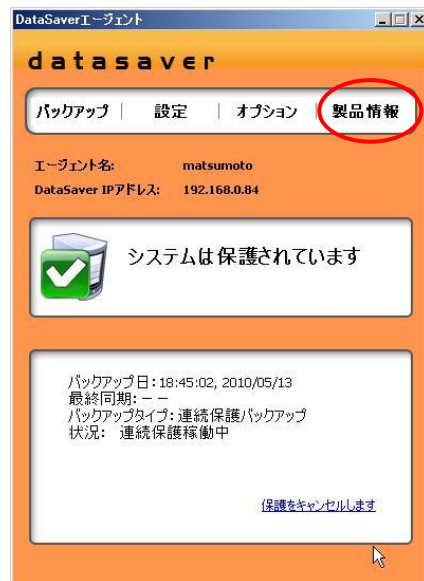
オプション変更を有効にするためには、【適用】をクリックし、バックアップ対象PCを再起動します。



2-1-2: エージェントのバージョンを調べるには？

- ① エージェントアイコンをクリックし、エージェント画面を開きます。
- ② 製品情報をクリック。

バージョン情報が参照できます。

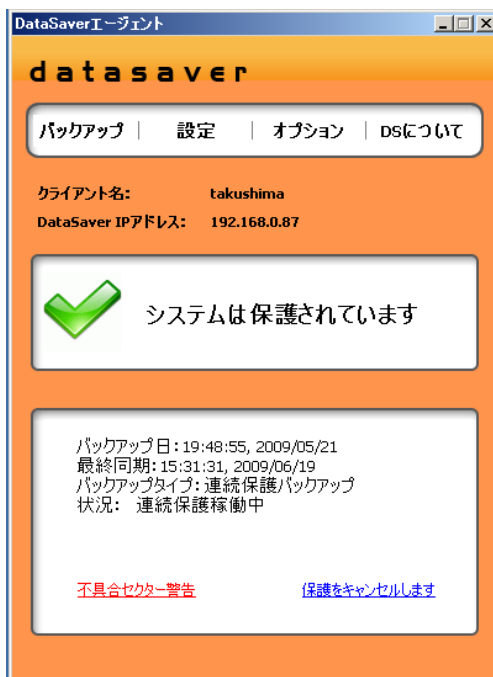


2-1-3: 不具合セクタ検知が表記されたら？

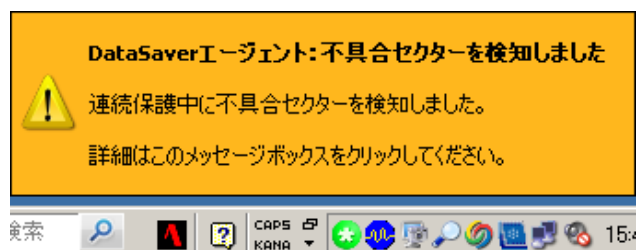
不具合セクタとは、Windowsが現在使っていない読み取り不能域(セクタ)を指します。

datasaverはHDDを丸ごとバックアップする性質上、不具合セクタも同時にバックアップするため、障害時に不具合セクタが原因で復旧されない可能性もございます。よって、それに備えて事前に警告を発する検知機能が付いています。

【不具合セクタが表示された場合：エージェント画面】



【不具合セクタが表示された場合：ポップアップ】



【対処方法】

必ず再度フルバックアップを行って下さい。

その前にディスクチェックを行って頂くことをお勧めします。(方法は下記ご参照)

■ 重要 ---- 不具合セクタの修復

Windows ディスクチェックでも他のソフトでも 100%修復はできません。OS は以前 不具合セクタを使用しているため、現在は使用していない可能性があるため、その場合はディスクチェックによっても検出されません。しかし、datasaver は以前使用していたセクタをベースにしているため Windows 側との矛盾が生じます。そのため、現状の OS が使用しているセクタとの整合性を統一にするために必ずフルバックアップをして頂くようお願いしております。

■ NOTE ---- ディスクチェックを実行しても不具合セクタが表示される場合

Windows ディスクチェックでも他のソフトでも 100%修復はできないため、修復できないセクタは残ってしまう場合がございます。その際には **datasaver** が該当セクタ部分を検知し続けますので不具合セクタ告知が今後不要な場合は、非表示にすることも可能です。方法については弊社サポートまでお問い合わせください。

【Windows ディスクチェックを使用する場合】(Windows XP)

①エージェントの【保護をキャンセル】を押して、連続保護バックアップを停止します。

②PC の各ドライブをディスクのチェックを行います。

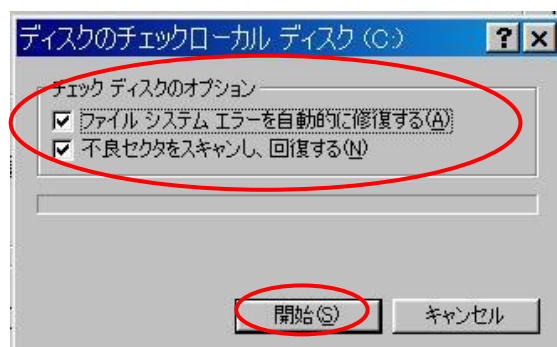
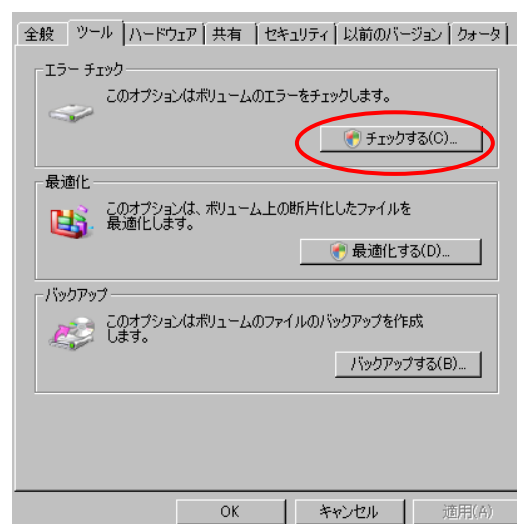
【マイコンピュータ】を開き、Cドライブを右クリックし、【プロパティ】をクリック。

③【ツール】タブ中の【エラーチェック】部の【チェックする】ボタンを押して下さい。

④チェックボックスにチェック☑を入れ、【開始】ボタンを押して下さい。

⑤終了しましたら、必ず PC を再起動して下さい。

⑥その後、再度フルバックアップを行って下さい。

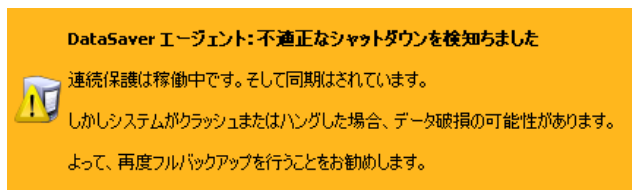


2-1-4:不適正なシャットダウンが検知されたら？

バックアップ対象 PC のシャットダウンが適正に行われなかった場合（強制終了など）、**datasaver** エージェントより「不適正なシャットダウン」検知のメッセージが表示されます。

この際、**datasaver** エージェントも不適正に終了されているため、データ破損の可能性があります、障害時に復旧できない可能性もございます。

よって、再度フルバックアップを行って下さい。



2-2: エージェントをアップグレードするには？

弊社サポートページより新しいエージェントを入手します。

■ 重要 --- datasaver エージェントダウンロード

iso ファイルまたは setup.exe ファイルにて入手可能です。

iso ファイルは専用ソフトにてCDに焼いてご利用ください。こちらはリカバリ CD にもなります。

setup.exe ファイルはそのまま起動して頂くと、アップグレードを開始します。

2-2-1: iso ファイルを使ってアップグレードする。

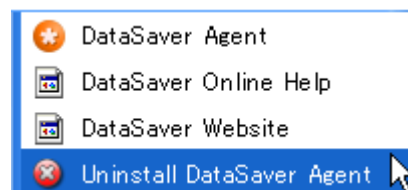
- ① iso ファイルを焼いた CD を バックアップ対象 PC に入れる。
- ② CD 起動後、指示に従ってアップグレードをしてください。
- ③ 完了後、アップグレードを有効にするため、バックアップ対象 PC を再起動してください。

2-2-2: setup.exe ファイルを起動してアップグレードする。

- ① setup.exe ファイルをダブルクリック。
- ② アップグレードが始まるので、指示に従って実行して下さい。
- ③ 完了後、アップグレードを有効にするため、バックアップ対象 PC を再起動してください。

2-3: エージェントをアンインストールするには？

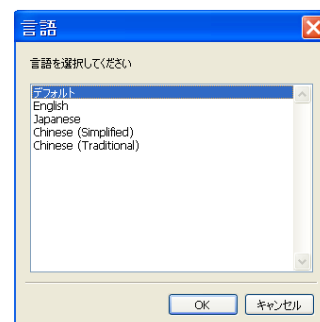
- ① プログラムより**datasaver**を探します。
- ② 【Uninstall Datasaver Agent】を選択。
- ③ アンインストールを有効にするため、PC再起動をしてください。



3. エージェントアイコン

3-1: 言語を変更するには？

- ① エージェントアイコンを右クリック。
- ② 【言語の変更】を選択。
- ③ 任意の言語に選択。
- ④ OK ボタンをクリック。



4. Eメールアラート

4-1:E メールアラートの種類・概要

E メールアラートの設定方法はマニュアル基本編を参照ください。

種類	以下内容の際に配信されます。	対応・対処法
レポート	週間レポート	現状を一読ください。エラーが無いか確認して下さい。また最終同期を確認して24 時間以上経過している場合は、該当エージェント、ネットワーク接続確認して下さい。
レポート	datasaver 本体サーバ始動・再起動	現状を一読ください。
レポート	datasaver シャットダウン	現状を一読ください。
レポート *1	電源障害を検知。UPS バッテリで稼働	UPS にて稼働している事をご確認ください。UPS バッテリ容量が少なくなった時点で datasaver は自動的にシャットダウンしますが、必要であれば、手動で datasaver のシャットダウンを行って下さい。
レポート	電源障害が復旧	電源障害が確実に復旧したかご確認ください。
注意 警告	datasaver サーバ本体 オーバーロード	負荷が高い状態です。数台のバックアップを停止してください。 システム障害やデータ破損に繋がる恐れがあります。
注意 警告	フルバックアップ 連続保護バックアップが停止	任意の停止でない場合は該当エージェントの状況を確認ください。
注意 警告	ディスクの初期化	RAID 構成に変更があったことを示します。現状を一読ください。
注意 警告	ディスクの不具合検出	どのディスクが不具合かメモをし、サポートまでご連絡ください。
注意 警告	ディスク残容量アラート警告設定値に 到達	HDD 容量が不足しています。容量を空けて下さい。 具体的にはエージェントやリカバリポイント の削除を実行します。
エラー	スナップショットが作成されない	該当エージェントの状況を確認ください。 再度フルバックアップを取ってください。
エラー	リカバリポイント内にエラーを検出	該当エージェントの状況を確認ください。バックアップ対象 PC に不具合がないか 確認し、再度フルバックアップを取ってください。

*1 **datasaver** 対応の UPS(無停電電源装置)を正しく接続している場合のみアラートが配信されます。

5. ログの取得方法～datasaver サポートチームにサポートを依頼するには？

※サポート依頼前に、マニュアル基本編のメンテナンス事項をお試し下さい。

それでも問題解決に至らない場合は、ご依頼頂いた内容により、サポートチームよりログ取得依頼をする場合がございます。その際は、下記手順に沿ってログを取得して下さい。

5-1:ファームウェアログ

①管理者としてログインします。

※ログイン方法は基本編を参照

②メニューの【サーバ管理】をクリック。

③解析ログダウンロードをクリック。

④分かりやすい名前を付け、保存をお願いします。

※bkp ファイルとなります。



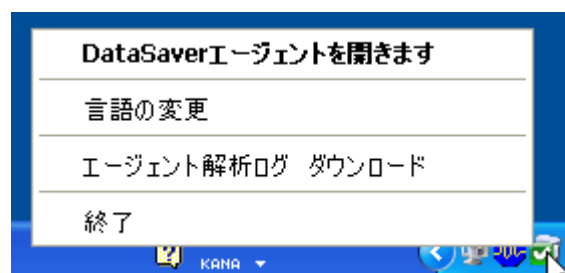
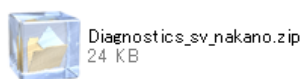
5-2:エージェントログ

①datasaver エージェントアイコンを右クリック。

②下から 2 番目「エージェント 解析ログ」をクリックする。

③分かりやすい名前を付け、保存をお願いします。

※Zip ファイルとなります。



5-3:Windows イベントログ 2 種類

①スタート→コントロールパネル→管理ツール

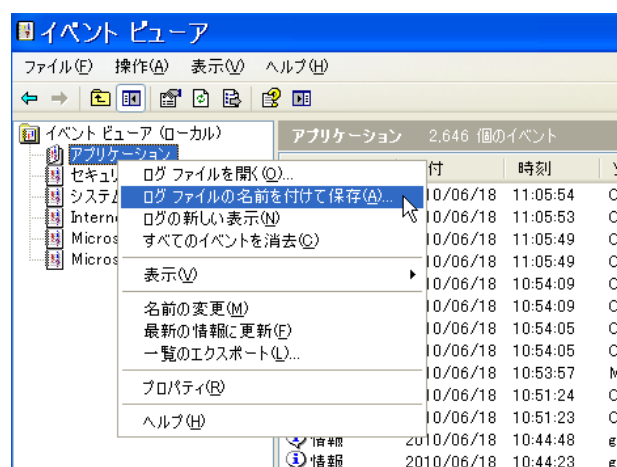
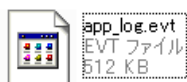
→イベントビューアを開く。

②イベントビューアの「アプリケーション」にポインタを合わせ、右クリック。

③ログファイルの名前を付けて保存を選択。

④イベントビューアの「システム」部分も同様の手順でログに名前を付けて保存。

※evt ファイルとなります。



6.datasaver を UPS(無停電電源装置)に接続する

■ 重要 --- UPS(無停電電源装置)への接続

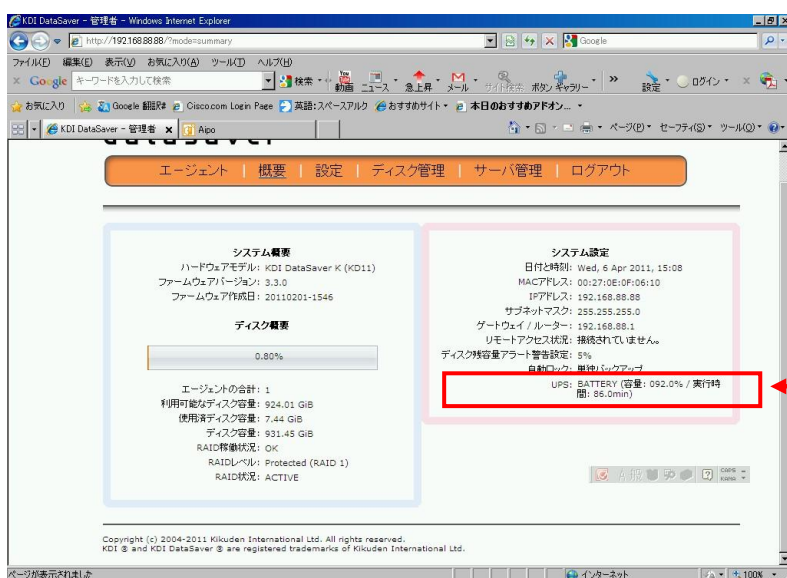
ご使用になる際は、UPS 機種が対応しているかご確認ください。

また、電源障害は不定期に発生し、かつ緊急を要することが多いため導入時、また導入後も定期的に正常稼働を確認してください。

UPS対応機種: * APC Smart-UPS SUA500JB / SUA750JB / SUA750RMJ1UB / SUA1000JB /SUA1500JB
/ SUA1500RMJ2UB /SUA2200JB / SUA3000JB / SUA3000RMJ2UB
※別途 AP98117J もしくは AP9827 USB 付属ケーブルが必要
※上記機種には **datasaver** に自動シャットダウンさせるソフトのインストールは必要ありません。

6-1:UPSセットアップ、接続確認方法

1. 付属のUSBケーブルでUPSと**datasaver**を接続し、**datasaver**の電源ケーブルをUPSに接続してください。
2. **datasaver**の電源を入れます。
3. **datasaver**起動後、管理者にてログインし、メニューの【概要】をクリックします。
“UPS: ONLINE” という表示があるか確認します。
4. 表示が無いまた“UPS: ERROR” と表示された場合は、接続が適切にされてない又はUPS機種が非対応となります。
5. “UPS: ONLINE” の場合、少し時間を空けて電気供給を断ち切り、**datasaver**がUPSから供給される電源によって稼働している事を確認して下さい。その間、表示が“UPS: BATTERY”と変わります。
6. UPSのバッテリー量が少なくなると、**datasaver**は自動的にシャットダウンします。
7. 電気供給を再開し、**datasaver**を起動します。通常起動する事を確認して下さい。
場合によってはディスク検査が開始される事もございます。



バッテリー容量と稼働時予測時間を表示します。

6-2:UPS関連のアラートについて

①電源供給元がUPSバッテリーに変更した時点でアラートにてお知らせ致します。

「電源障害を検知しました。UPSバッテリーで稼働中です」

②電源障害が復旧した際にアラートにてお知らせ致します。

「電源障害が復旧しました」

7. FAQ(よくある質問)

サポート宛によくお問合わせ頂く質問を集めて掲載しています。
また質問頻度は★の数にて表示しています。

頻度	★少	★★★★中	★★★★★★高
----	----	-------	---------

8-1:導入設置・運用

8-2:バックアップ

8-3:復旧

7-1:導入設置・運用

1. datasaver のデータ を datasaver あるいは他のメディアでバックアップすることは可能ですか？ ★★★

いいえ、現時点では対応していません。

ただし、重要なデータを保護するという点から、何かしらの方法でバックアップは必ず二重に取得しておくことを推奨しています。

2. datasaver は他の言語に対応しているの？ ★

はい、対応しています。英語、中国語に対応しております。

言語変更の方法は本マニュアルにてご確認ください。

3. 会計ソフトを使った PC、暗号化ソフトの入った PC をバックアップしたいのですが、対応していますか。★★★

まずは評価機にて検証を行って頂きますようお願いいたします。ソフトのバージョンによって対応・非対応という場合があります。

4. WAN 経由でのバックアップを検討しています。可能ですか。★★★★

可能です。ただしお客様でのネットワーク環境、データ変更差分量により実践的な時間でバックアップが出来ないケースも考えられます。またセキュリティの面より VPN 環境を推奨いたします。
ネットワーク管理者へご相談ください。

5. datasaver の IP アドレスを忘れてしまいました。調べる方法がありますか。★★★

はい、**datasaver** に接続されたエージェントがある場合、エージェント画面にて IP アドレスが確認できます。

エージェントが無い場合でも以下の方法で調べる、あるいは初期設定値に戻す事ができます。

datasaver 本体の電源を入れた上で、VGA ケーブルにてディスプレイへ繋いで頂ければ、画面に IP アドレスが表示されます。

(また他にもファームウェアのバージョン情報が表示されます。)

datasaver 本体サーバに VGA ポートが無い場合、IP アドレスを初期設定時(192.168.88.88)へ戻す方法をご案内いたします。サポートチームまでお問い合わせください。

6. インストール兼ドライバ確認 CD にて確認したところ、ドライバが検知されませんでした。その場合の対処法は？★

マニュアル基本編「ドライバが確認できない場合」をご確認ください。

手順に従って PC ドライバ情報を取得し、弊社サポートチームへ情報を送付ください。

7. DS21T 機種(KD11)において稀に FAN の大きな音がします★

マザーボードには、温度センサーが搭載されており、自動 FAN コントロールを行います。

ただしマザーボード起動時の温度センサーの初期値が安定してない為、稀に FAN が全回転する事があります。

この現象を回避する方法は装置の再起動(ハード的な再起動→すなわちハードリセット)により適正化される事がわかっております。本機種にて採用しています Intel マザーボード D510MO (Intel 社)にて何度かファームアップが行われましたが、現在に至るまで解決されておられません。低消費電力型のマザーボードの為、パワーオンからセンサー読み込みに至る時間までに、センサーが安定していないと思われますが、これを改善したファームのアップデートは行なわれておりません。

よって、現時点での唯一の解決策は、パワーオン後のリセットのみと言われています。

ハードウェア電源ボタンを再度押すことによりハード的な再起動を行って適正化をして下さい。

8. 電源工事のため停電があるのですが、datasaver に問題はないですか。★

datasaver 以外でもパソコン機器に共通して大切なのは正式な手順でシャットダウンをすることです。突然の電源断は故障の原因となる場合がございますので事前に停電時間前に管理者ログインをし、シャットダウンをして下さい。

電源が復活しましたら、改めて電源を入れて下さい。電源が落ちている間は同期がなされませんが、電源復活後、通信ができる環境になった際に再度自動的に同期されます。

7-2: バックアップ

1. バックアップは何種類かあるの？★

「単独バックアップ」と「連続保護バックアップ」の 2 種類あります。

「単独バックアップ」…1 度だけフルバックアップを取る。

「連続保護バックアップ」…1 度フルバックアップを取り、その後は変更したデータのみを転送し、連続的に保護します。

2. フルバックアップ中はバックアップ対象 PC を操作できないの？★

いいえ。フルバックアップ中でも PC を使用していただいて構いません。

3. 連続保護バックアップ中に変更されたデータはどの段階でバックアップされるのでしょうか。★★★★★

設定された同期の時点です。

初期設定では、変更データは 10 分間隔で差分データとして **datasaver** サーバ本体に同期されます。

同期中に変更しているデータは、その時には転送されず、次回同期の際に同期されます。

4. **datasaver** は選択したファイルやフォルダをバックアップ可能ですか？★

いいえ、**datasaver** は、HDD を丸ごとバックアップしますので、システムやアプリケーション、メール設定全てが対象です。

よって個々にファイルやフォルダのバックアップは行いません。

5. フルバックアップはどれくらい時間がかかるの？また、同時に何台のフルバックアップが可能なの？★★★★★

フルバックアップは目安として、約 20GB の使用量で 30 分から 1 時間程度です。

ただし、バックアップ対象 PC やハブの仕様、お使いのネットワークの混雑具合により、時間は異なります。

同時にフルバックアップを取る事はネットワークに負荷をかけるため推奨しておりません。

6. データを転送する目安速度は？★

目安は1秒で8MB です。

ただし、バックアップ対象 PC やハブの仕様、お使いのネットワークの混雑具合により、時間は異なります。

7. フルバックアップ中にバックアップ対象 PC の電源は落としても平気なの？★

いいえ。フルバックアップ中は PC の電源を落とさないよう、ご注意ください。

フルバックアップ中にバックアップ対象 PC をシャットダウンしようすると、メッセージが表示され、フルバックアップ終了後にシャットダウンするよう選択可能です。

フルバックアップ終了後の連続保護バックアップ中は通常通りシャットダウンしていただいて構いません。

8. **datasaver** はクライアント PC しかバックアップできないですか？★

いいえ、**datasaver** は Windows サーバもバックアップ可能です。

しかも **datasaver** 1 台でサーバとクライアント両方のバックアップが可能です。

9. datasaver はサーバをバックアップするためにクライアントアクセス権限が必要ですか？★

datasaver は Microsoft サーバまたは、Microsoft ネットワークをバックアップするために、クライアントアクセス権限は必要ではありません。これは **datasaver** のエージェント Microsoft Windows 内でサービスを起動しているためです。**datasaver** はバックアップやリカバリ機能を動かすために Windows ネットワーク、Windows ファイルや共有プリンタ、アクティブディレクトリは使用していません。

7-3: 復旧

1. datasaver はフルシステムリカバリのほかに、個別ファイルの復旧は出来ますか？★★★

はい。**datasaver** は個別、複数のファイルやフォルダの復旧ができます。通常の Web ブラウザで、**datasaver** にエージェントとしてログインし、復旧したいファイルやフォルダを選択して復旧させます。複数のデータファイルを一度に復旧することも可能です。詳細方法はマニュアル基本編をご覧ください。

2. 個別ファイル復旧はシステムの復旧もできるの？★

いいえ、できません。

個別ファイル復旧はデータのみ復旧できます。

3. 個別ファイル復旧は違う PC からでも実行できるの？★★★

はい、ネットワーク内の PC どこからでも可能です。Web ブラウザで **datasaver** にエージェントしてログインします。

4. datasaver はフルシステムリカバリ容量の大きい HDD に出来ますか？★

はい、できます。

例) 40GB の HDD をバックアップして、80GB の HDD へ復旧します。

5. 容量の大きい HDD でフルシステムリカバリをした後、余っているディスクスペースはどうなりますか？★

容量の大きいハードディスクで完全システム復旧をした後、新しいドライブを作成できますし、現状のドライブ／パーティションのサイズを変更して使用することも出来ます。

6. フルシステムリカバリをする前に、新しいディスクにフォーマットやパーティション作成をする必要がありますか？★

いいえ。新しいディスクをフォーマット、パーティション作成も必要ありません。フルシステムリカバリをした際に、自動的に全て行います。ただし、既存のドライブやパーティションがまだ存在している場合は、上書きされますのでご注意ください。

7. フルシステムリカバリを行うには何が必要なの？★

datasaver Installment and Recovery CD と **datasaver** へアクセスできるネットワーク環境が必要です。

また、**datasaver** の IP アドレスとエージェント名、パスワードも必要です。

※**datasaver** Installment and Recovery CD が最新版がフルシステムリカバリ実行前にご確認ください。

8. 違う PC にフルシステムリカバリはできるの？★★★

いいえ。フルシステムリカバリはシステムごと復旧をするため、違うメーカーやリリース時期の異なる PC ではできません。

9. datasaver はクライアントの RAID をサポートしていますか？ ★

datasaver はクライアント側でハードウェアを基本にした RAID コントローラをサポートしています。

ソフトウェア RAID (Windows ダイナミックディスクのようなチップセットされたソフトウェアドライブ)はサポートしていません。

不確かな場合は、必ずご確認ください。

10. クライアントの RAID をサポートしていますか？ ★

ソフトウェア RAID はサポートしておらず、ハードウェア RAID のみサポートとなります。

11. datasaver はどのポートを使用しますか？ ★

datasaver エージェントと本体サーバは通信に IP ポート 5450 を使用します。 ファイヤーウォールやルータがこのポートを使用してサーバに通信が出来るように許可を与えてください。 アンチスパイウェアとファイアーウォールソフトウェアが入った PC に

datasaver エージェントをインストールを参照してください。

12. datasaverの書き込み用にどのくらいのビット速度とタイプが必要ですか？ ★

datasaver はクライアントとサーバ間のネットワークでは、ブローフィッシュと AES128 ビットの送信をします。

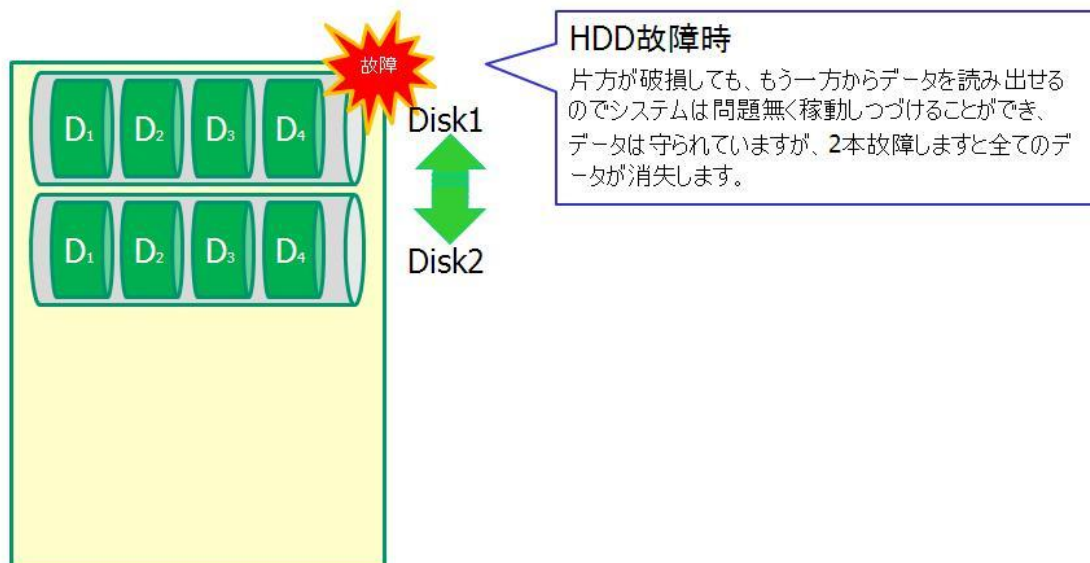
ウェブ GUI は HTTPS 送信で SSL を使うことも可能です。

8. Raid 構成のしくみ(Raid1, Raid10, Riad6, ホットスペア)

【DS21T】の場合

⇨Raid1 (ミラーリング)

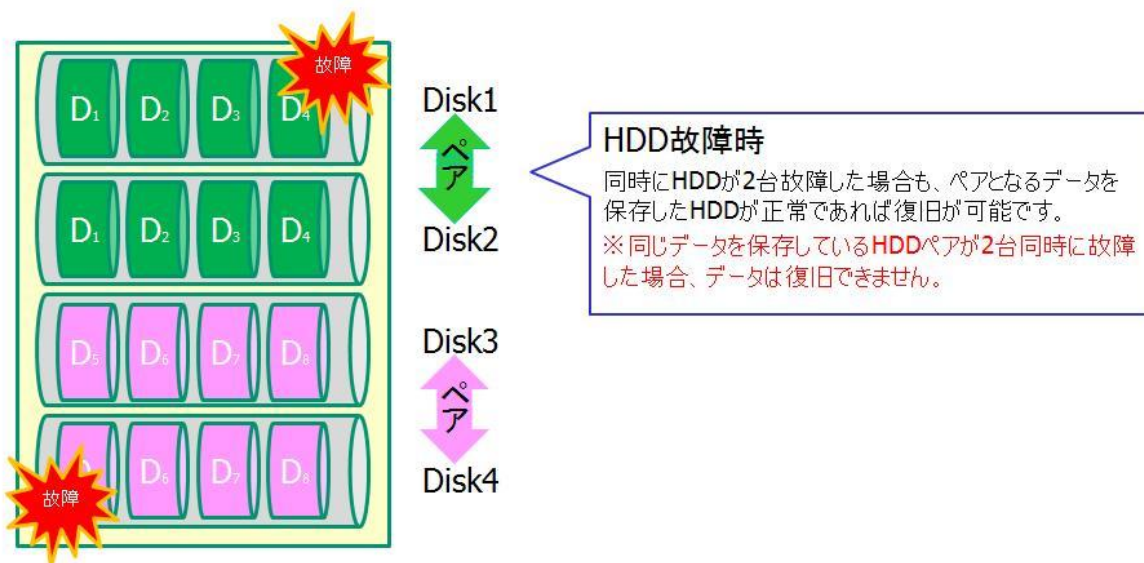
2本のHDDにまったく同じデータを同時に書きこむ方式を採用しています。



【DS42T】の場合

⇨Raid10

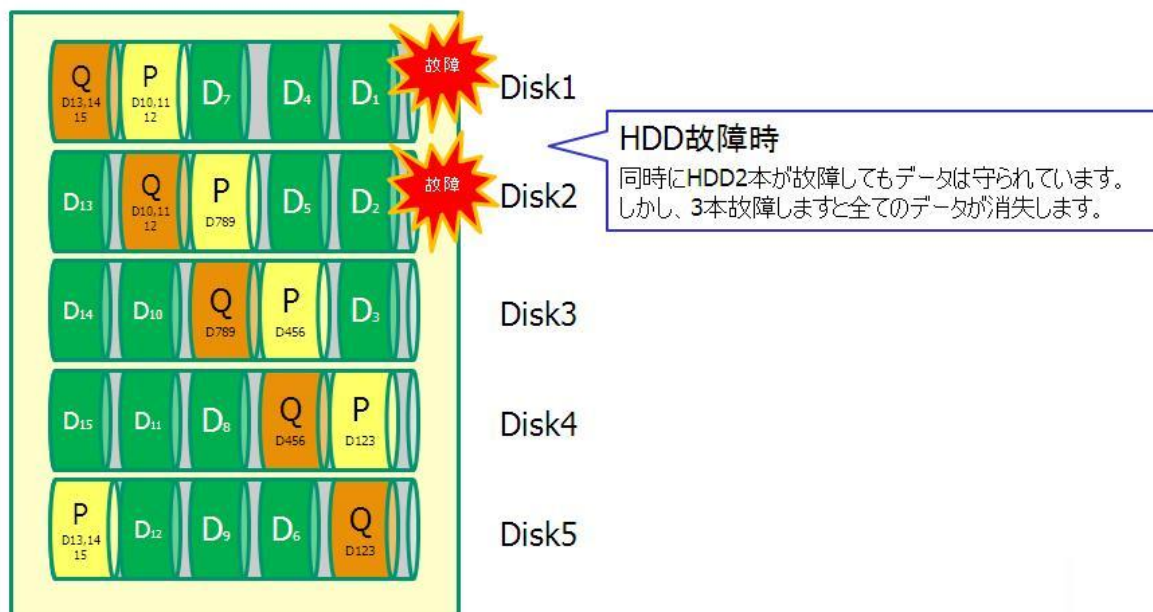
ドライブ2台でデータを2重化したペアを、さらに2台×2でまとめて1組のHDD(アレイ)としてデータを分散して保存します。各ペアには、それぞれ同じデータが記録されます。万一のドライブ故障時には、ドライブを交換し、ペアのドライブからデータを復旧できます。同じデータを保存したペアのドライブが同時に故障しない限り、最大2台までのHDDの故障に対応できます。



【DS121T】の場合

☛Raid6

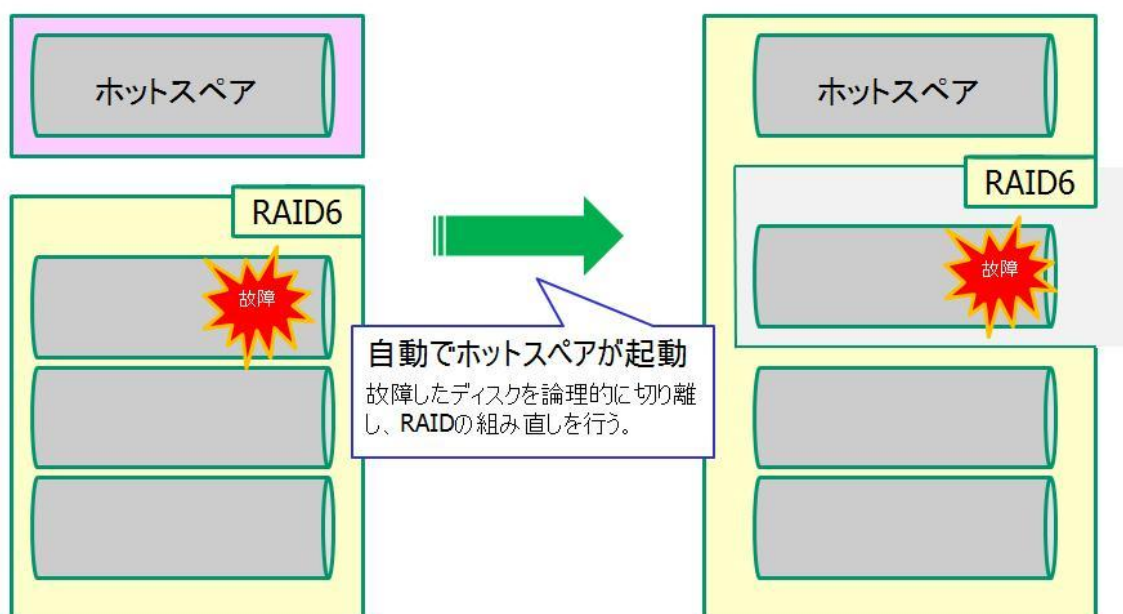
一つのデータを複数のHDDに書き込むときに、元データの訂正や復元を行うパリティ(下図PとQ)と呼ばれるデータを同時に作成し、元データを書き込むハードディスクとは別のハードディスクに順繰りに書き込んでいきますが、この役目を二台のハードディスクに割り当て、任意の二台のハードディスクの故障にまで許容できるように設計された方式です。



【DS121T】 ホットスペア機能

☛ホットスペア

ホットスペアディスクとは主系となるディスクと同期をとり、主系と同じ動作をしながら待機させるディスクのことです。**RAID**を構成するディスクの**1台**が故障した時に、壊れたディスクを論理的に切り離し、ホットスペアディスクを起動させることにより、**RAID**の構成を短時間で戻すことができます。



datasaver

datasaver URL: <http://www.datasaver-pro.com/>